

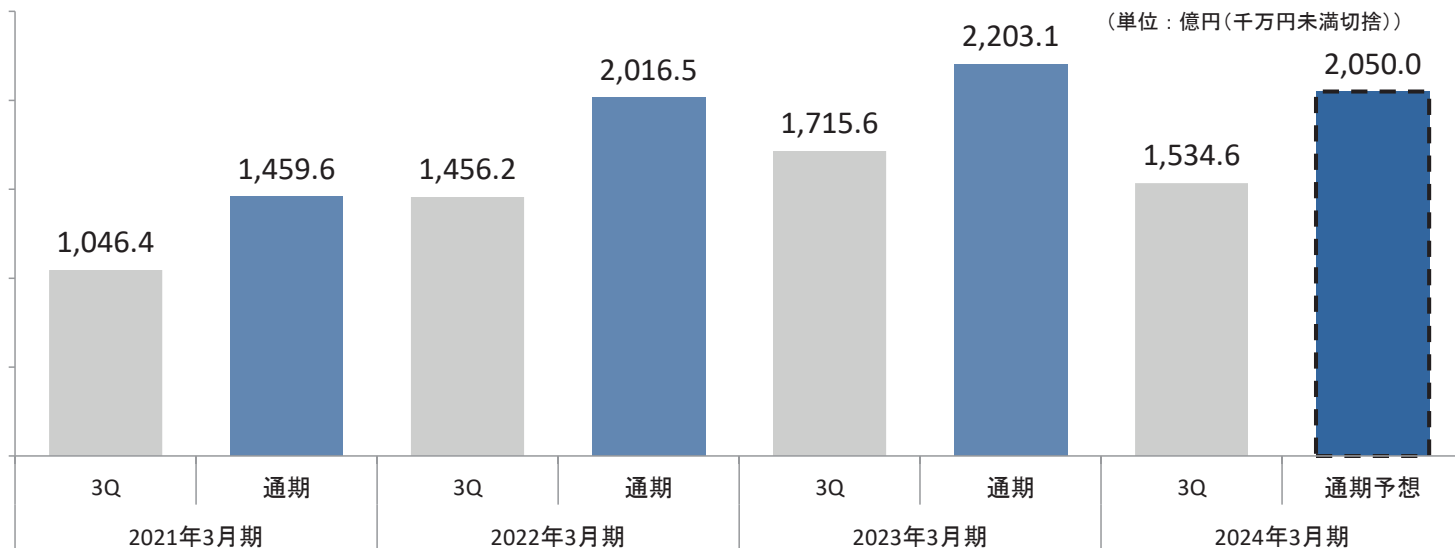
淀川製鋼グループ  
2024年3月期第3四半期決算説明資料

2024年2月6日

## 2 連結業績概要

(単位:億円(千万円未満切捨))

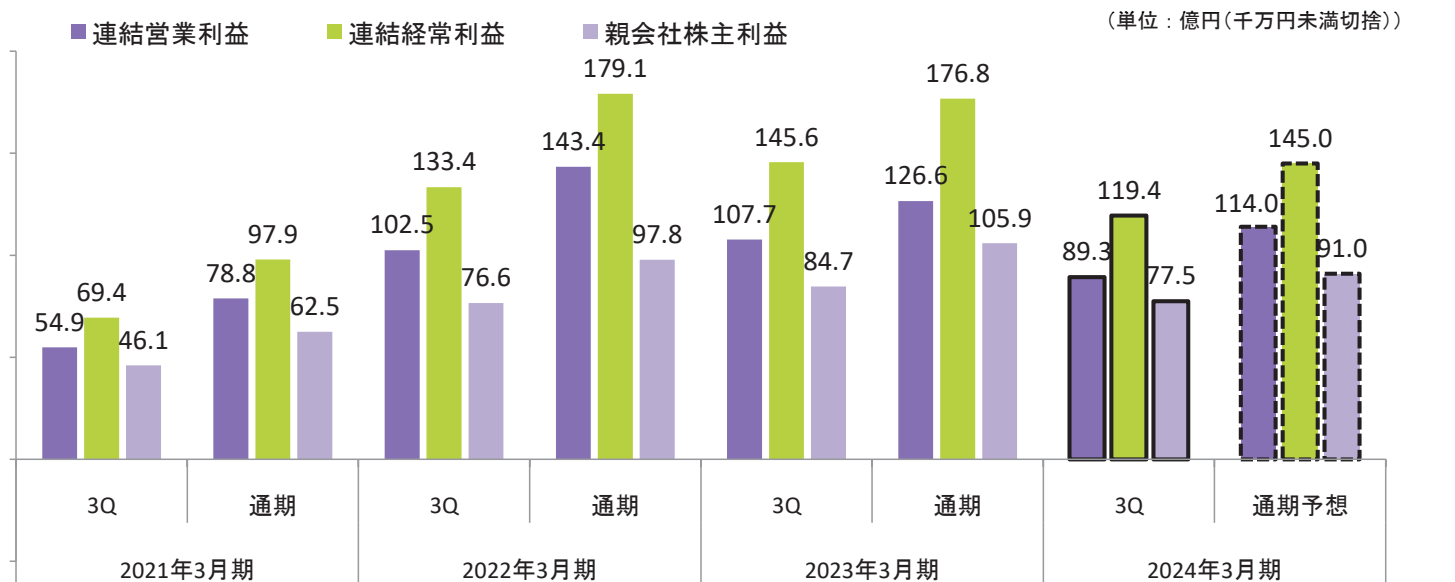
	当3Q	前3Q	増減	増減率	特記事項
<b>売上高</b>	<b>1,534.6</b>	<b>1,715.6</b>	<b>△180.9</b>	<b>△10.5%</b>	<売上> 国内:鋼板商品の販売数量減少などから減収 海外:台湾SYSCO社の販売数量減少、販売価格の下落などから減収
(売上総利益)	241.0	262.3	△21.2		
(販管費)	151.6	154.6	△2.9		
<b>営業利益</b>	<b>89.3</b>	<b>107.7</b>	<b>△18.3</b>	<b>△17.0%</b>	<営業利益> 販売価格改善に努めるも販売数量の減少により減益 <営業外収益> 投資有価証券売却益などの計上
(営業外収益)	32.6	40.5	△7.8		
(営業外費用)	2.5	2.6	△0.0		
<b>経常利益</b>	<b>119.4</b>	<b>145.6</b>	<b>△26.1</b>	<b>△18.0%</b>	<特別利益>固定資産売却益計上 <特別損失>固定資産除却損計上
(特別利益)	9.5	1.8	7.6		
(特別損失)	4.8	9.6	△4.7		
<b>税引前利益</b>	<b>124.1</b>	<b>137.8</b>	<b>△13.7</b>	<b>△9.9%</b>	
(法人税等)	36.0	41.2	△5.1		
(非支配株主利益)	10.5	11.8	△1.3		
<b>親会社株主利益</b>	<b>77.5</b>	<b>84.7</b>	<b>△7.2</b>	<b>△8.6%</b>	<包括利益> 当期:四半期純利益88億、その他有価証券評価差額金41億、為替換算調整勘定37億ほか
(EPS(円/株))	268.39円	293.84円	△25.4円		
<b>包括利益</b>	<b>167.2</b>	<b>133.3</b>	<b>33.9</b>		



## 【減収 180.9億の主な内訳】

- 淀鋼  $\Delta 132.3$ 億 (1,125.6 $\rightarrow$ 993.2)  
建築需要の停滞などから、ひも付き・店売りいずれも販売数量が減少。  
建材商品では屋根材の販売数量が減少、エクステリア商品では物置の販売数量が減少
- 台湾SYSCO社  $\Delta 58.8$ 億 (438.3 $\rightarrow$ 379.5)  
アジア市場を中心とした中国の鉄鋼需給ギャップの影響などにより、輸出向けの販売数量が減少
- 中国YSS社  $+1.9$ 億 (85.4 $\rightarrow$ 87.4)  
家電・輸出向けの販売数量が減少した一方、建材向けの販売数量が増加
- タイPPT社  $\Delta 2.6$ 億 (40.0 $\rightarrow$ 37.4)  
エアコン室外機向けが在庫調整の影響により、販売数量が減少

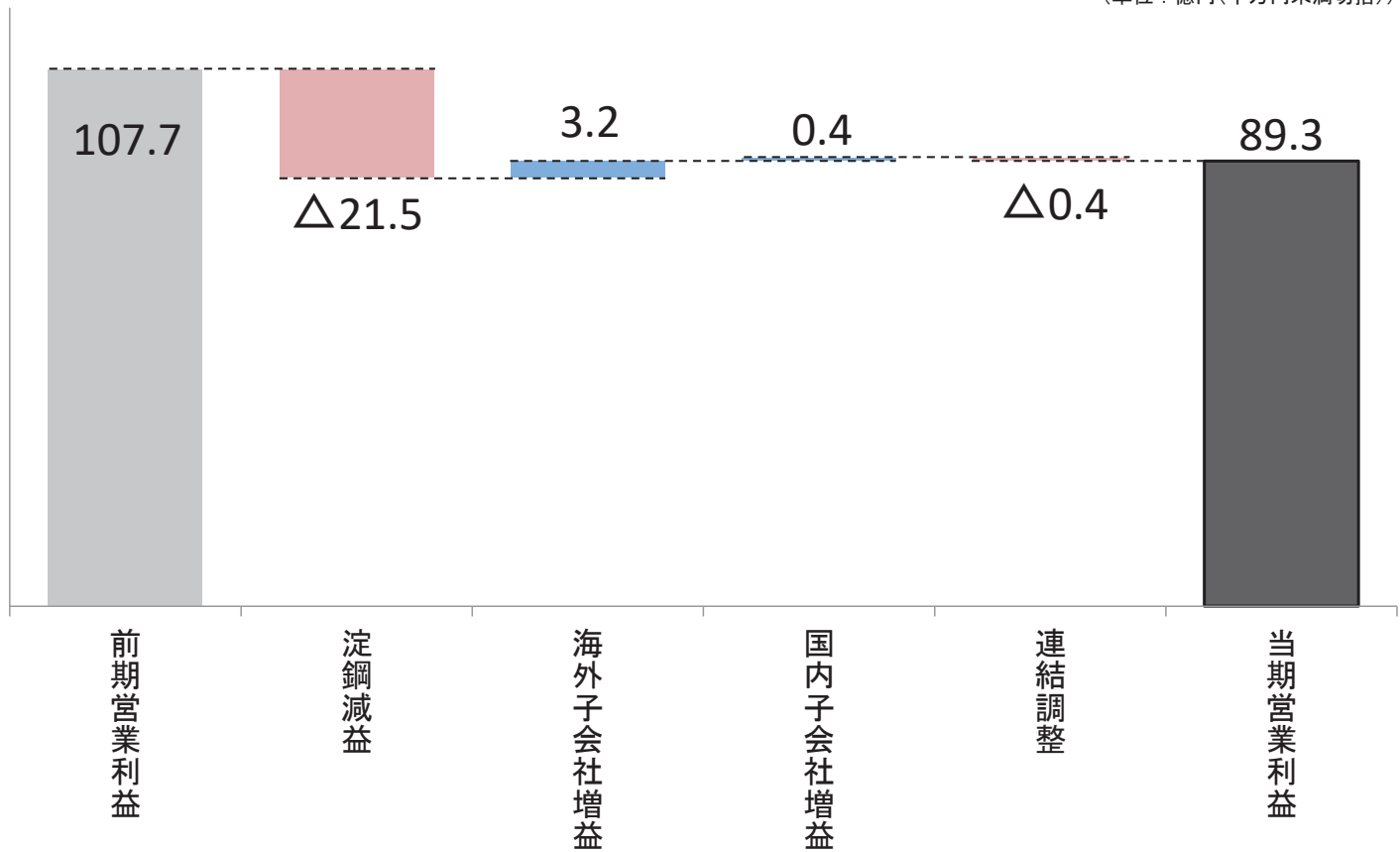
※2022年3月期期首から収益認識会計基準を適用しています。  
なお、本資料における2021年3月期については収益認識会計基準を遡及適用しています。



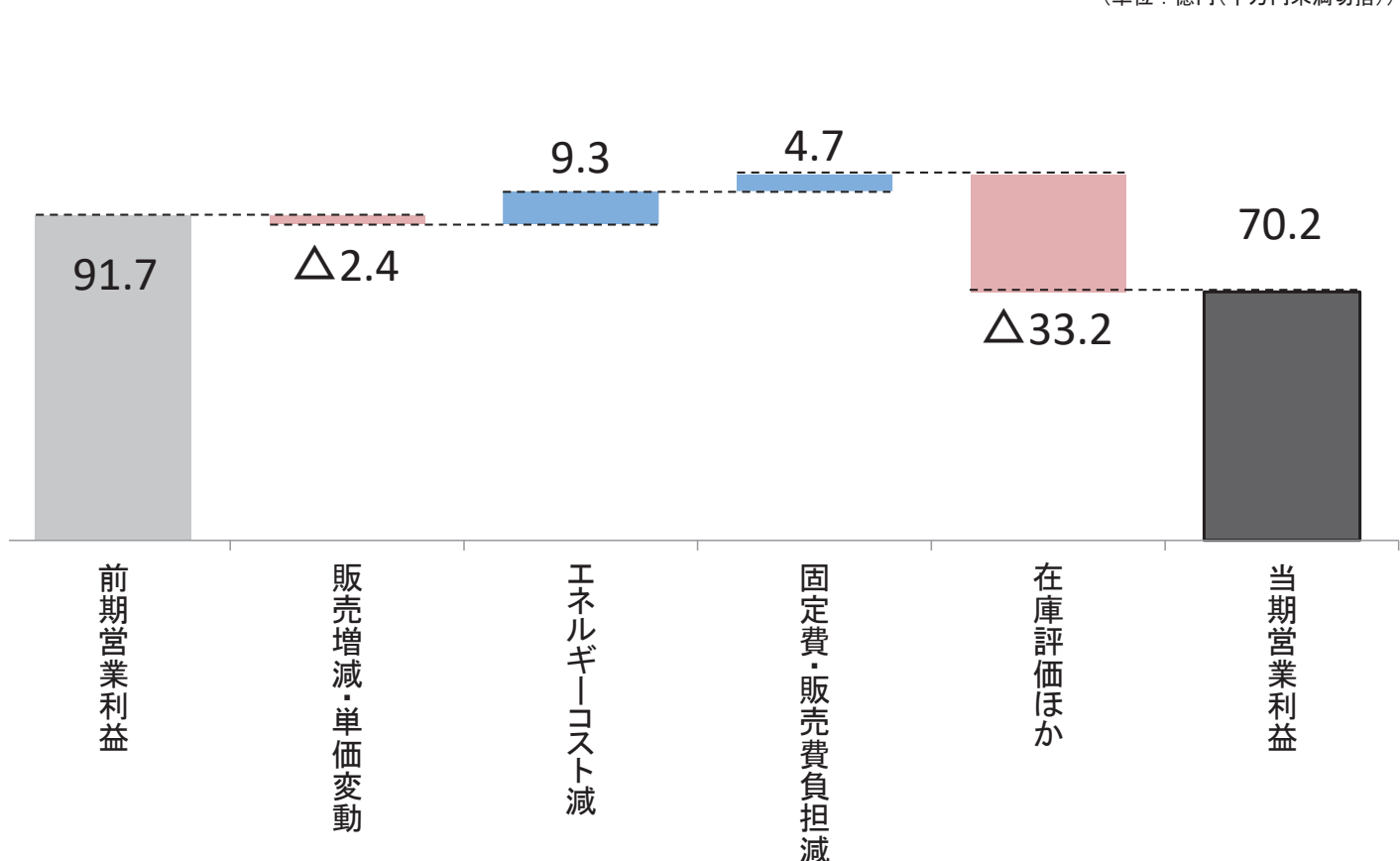
## 【営業利益 18.3億減益の主な内訳】

- 淀鋼  $\Delta 21.5$ 億 (91.7 $\rightarrow$ 70.2)  
販売価格は改善するも、主に鋼板事業における販売数量の減少により減益
- SYSCO社  $+2.7$ 億 (18.9 $\rightarrow$ 21.6)  
輸出向け販売数量の減少、販売価格の下落から減収となるも、台湾国内向けの販売数量回復により小幅な増益
- YSS社  $\Delta 0.6$ 億 ( $\Delta 5.0$  $\rightarrow$  $\Delta 5.6$ )  
中国の不動産市場低迷などの影響を受け、業績悪化
- PPT社  $+1.1$ 億 (2.7 $\rightarrow$ 3.8)  
採算の改善などから、減収となるも増益

(単位：億円(千万円未満切捨))



(単位：億円(千万円未満切捨))



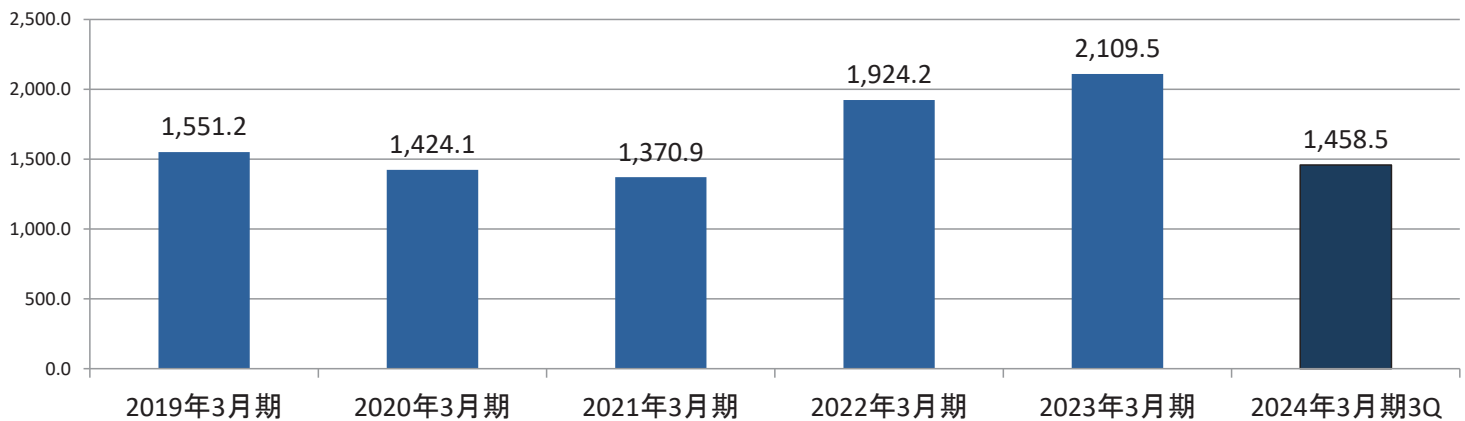
(単位:億円(千万円未満切捨))

	売上高			セグメント利益		
	当3Q	前3Q	増減率	当3Q	前3Q	増減率
鋼板関連	1,458.5	1,647.6	△11.5%	88.9	111.9	△20.6%
ロール	24.8	20.5	20.9%	0.4	△2.3	-
グレーチング	25.9	26.0	△0.1%	1.5	0.4	237.6%
不動産	9.6	9.2	4.2%	6.1	6.0	1.9%
報告セグメント計	1,519.0	1,703.5	△11.0%	97.1	116.1	△16.3%
その他	15.5	12.0	28.9%	2.5	2.0	26.1%
合計	1,534.6	1,715.6	△10.5%	99.7	118.2	△15.6%
調整額				△10.3	△10.4	
PL計上額	1,534.6	1,715.6	△10.5%	89.3	107.7	△17.0%

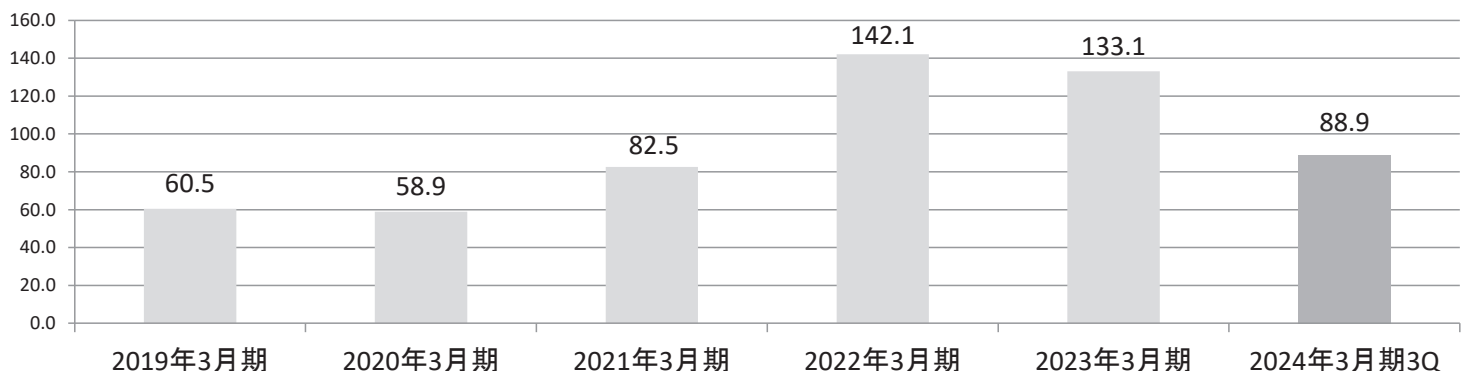
## 8 セグメント概況 (鋼板関連事業①)

## 【セグメント売上高】

(単位:億円(千万円未満切捨))



## 【セグメント利益】



## 【鋼板業務（日本国内）】

## • ひも付き

建材向け：めっき鋼板は物件の延期等により需要回復はせず、また、安価な輸入材の流入の影響を受け販売数量減少。

カラー鋼板は住宅着工の低迷により、販売数量減少

電機向け：巣籠り需要の反動や物価高騰による消費マインドの低下の影響で販売数量減少

➤ ひも付きでは販売価格の改善およびシェアの拡大に努めたものの減収

## • 店売

建築資材高騰や人手不足により住宅・中小非住宅向けの荷動きが鈍く、販売数量減少し、減収

➤ 日本国内全体では各品種で販売価格が改善するも、減収減益

## 10 セグメント概況（鋼板関連事業②）

## 【鋼板業務（海外）】

## • 海外

SYSCO社（台湾）：台湾国内向けはめっき鋼板、カラー鋼板ともに販売数量回復も、輸出向けは市況悪化の影響を受け販売数量が減少

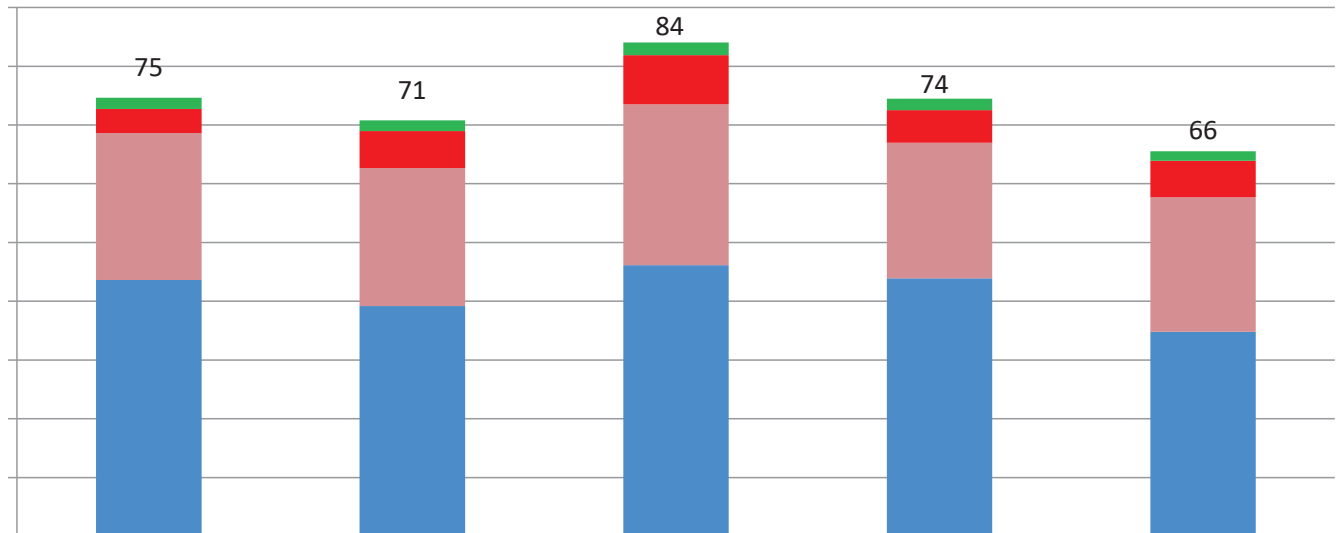
➤ SYSCO社全体では減収も採算の改善などにより小幅な増益

YSS社（中国）：めっき鋼板の販売数量は減少、カラー鋼板の販売数量は増加も価格競争激化の影響を受け業績は悪化

PPT社（タイ）：主にエアコン向け顧客の生産調整により販売数量は減少するも採算の改善などにより増益

## 【グループ鋼板商品の一級販売数量推移(3Q)】連結消去は考慮せず

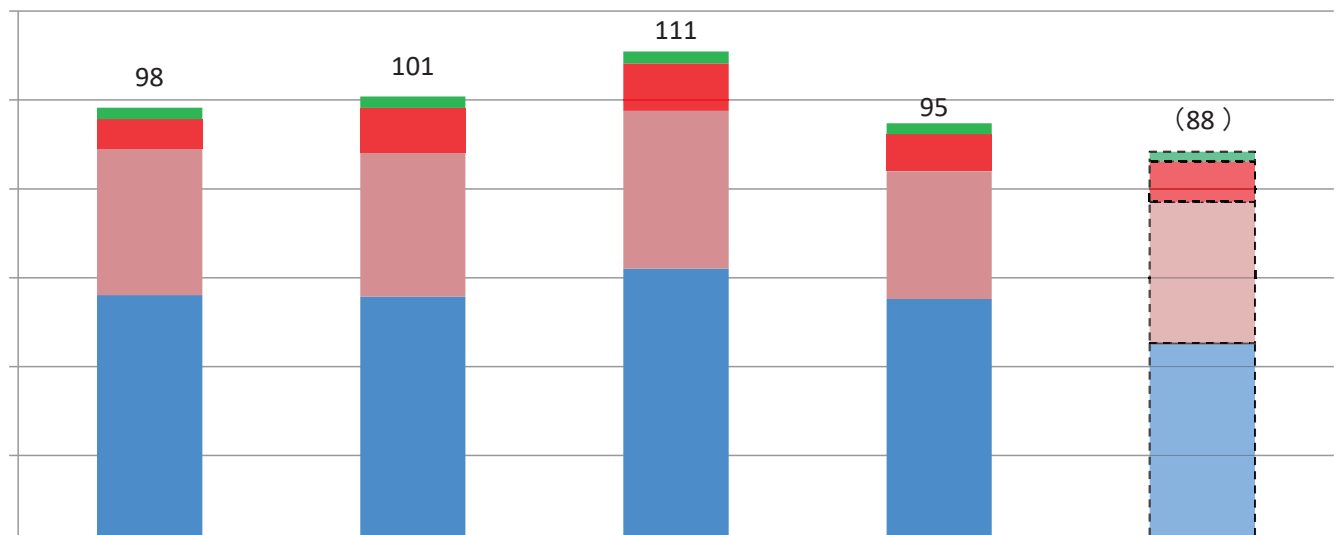
(単位：万トン)



	2020年3月期 3Q	2021年3月期 3Q	2022年3月期 3Q	2023年3月期 3Q	2024年3月期 3Q
■ PPT	2	2	2	2	2
■ YSS	4	6	8	6	6
■ SYSCO	25	23	27	23	23
■ YSW	44	39	46	44	35
合計	75	71	84	74	66

## 【グループ鋼板商品の一級販売数量推移(通期)】連結消去は考慮せず

(単位：万トン)



	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期 通期予想
■ PPT	3	3	3	2	2
■ YSS	7	10	11	8	9
■ SYSCO	33	32	36	29	32
■ YSW	56	56	62	55	45
合計	98	101	111	95	88

## 【建材業務（外装建材商品・工事）】

- 壁材の販売数量は堅調に推移するも、屋根材の販売数量が減少し、外装建材商品全体では減収
- 工事は大型物件が堅調に推移し、増収

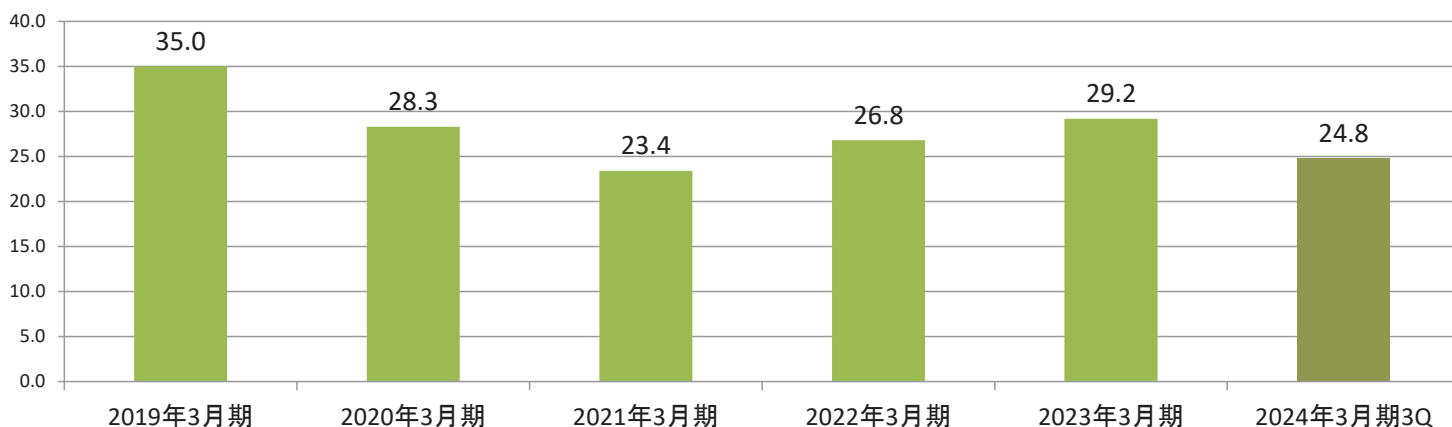
## 【建材業務（エクステリア商品）】

- ガレージ・大型倉庫は引き続き堅調に推移
- 物置は物価上昇に伴う消費者の支出抑制の影響などを受け販売数量減少
- エクステリア商品全体では減収

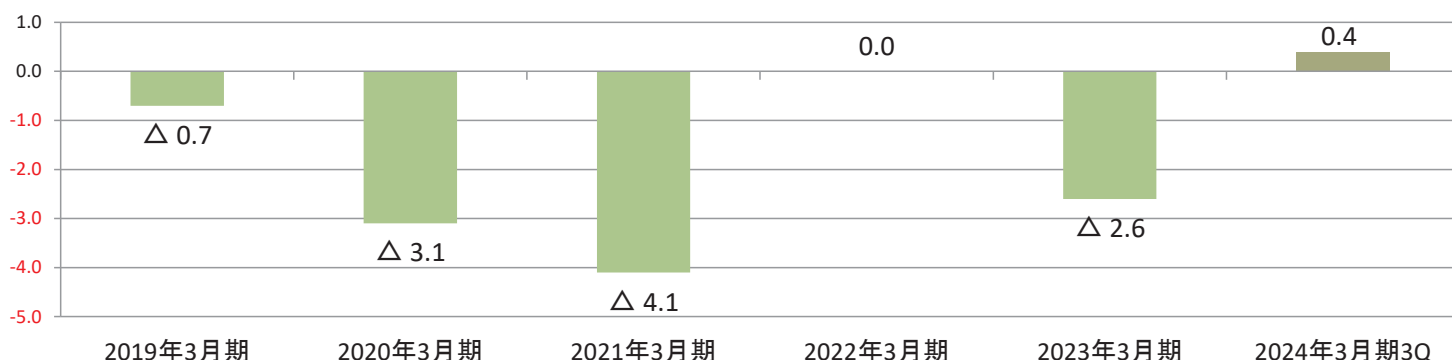
# 14 セグメント概況（ロール事業）

## 【セグメント売上高】

（単位：億円（千万円未満切捨））



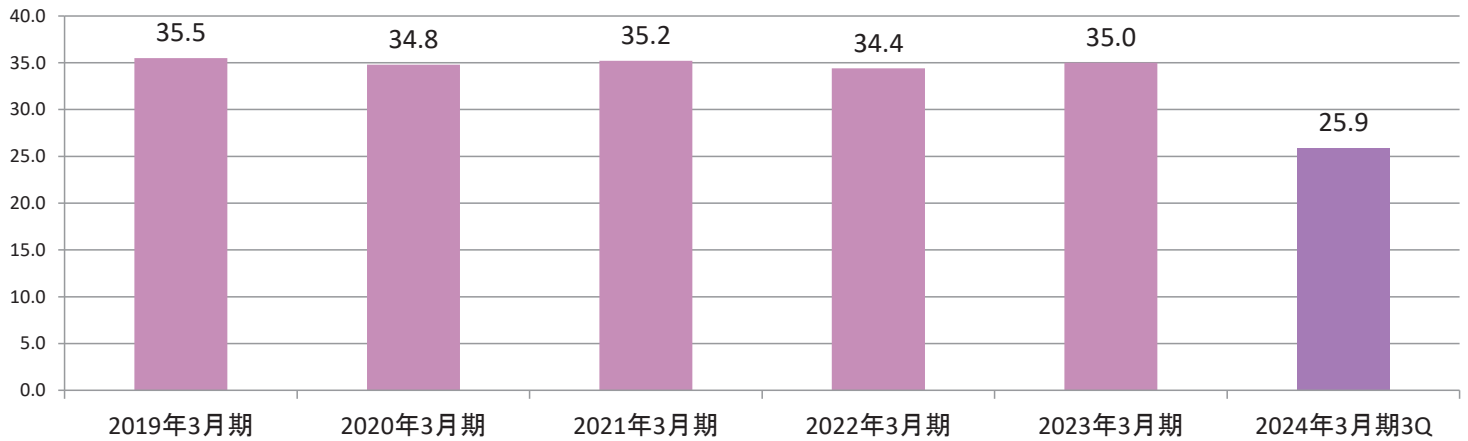
## 【セグメント利益】



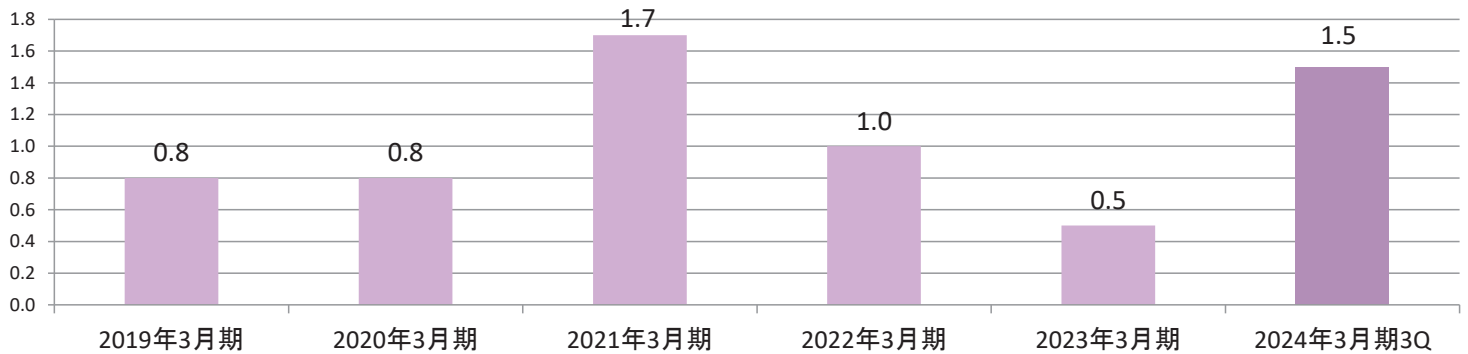
# 15 セグメント概況（グレーチング事業）

## 【セグメント売上高】

（単位：億円（千万円未満切捨））



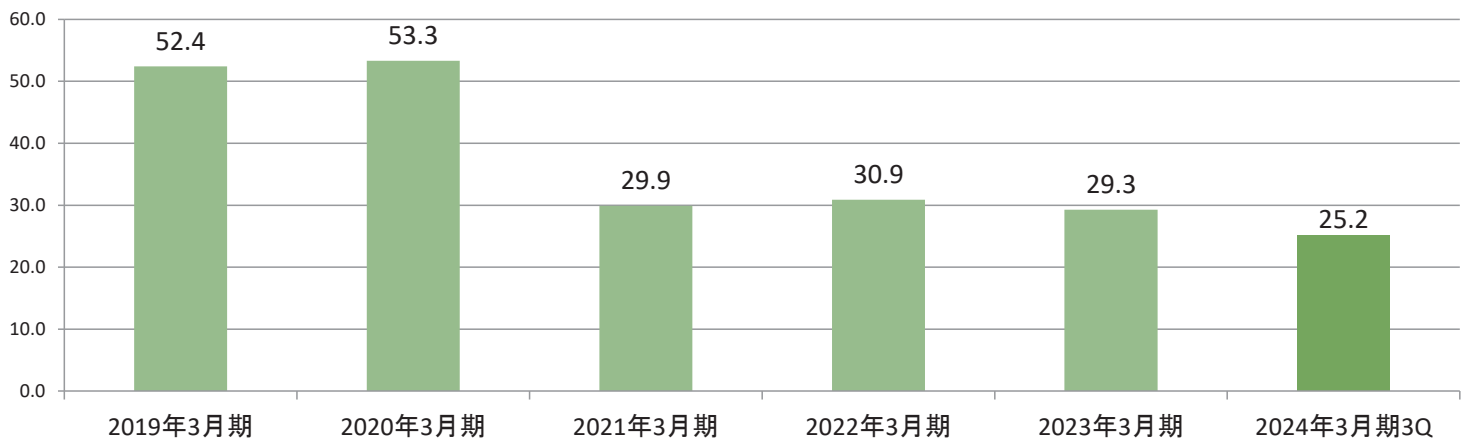
## 【セグメント利益】



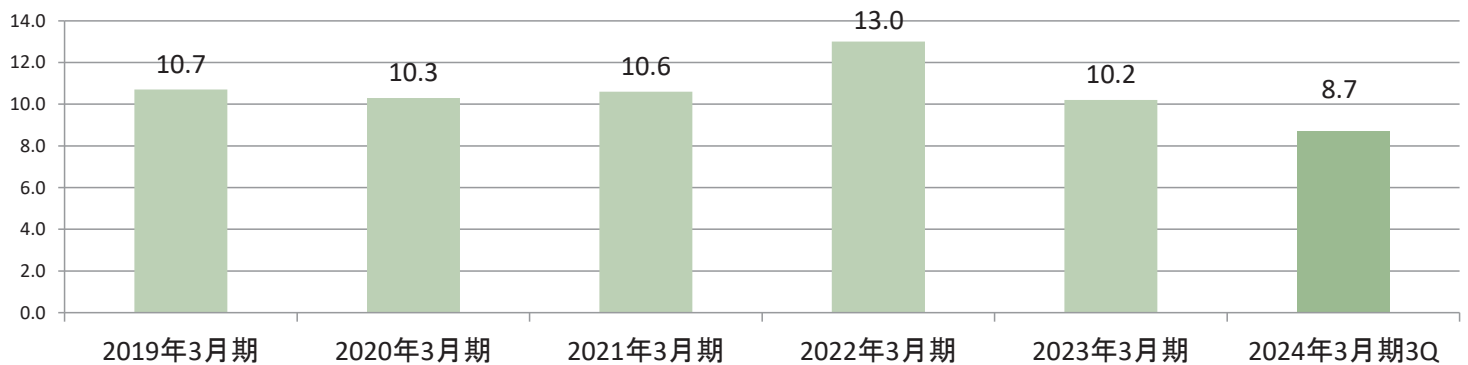
# 16 セグメント概況（不動産事業、その他事業）

## 【セグメント売上高】

（単位：億円（千万円未満切捨））



## 【セグメント利益】





## 【ロール事業】

- 販売価格の改善により増収し、損益も改善

## 【グレーチング事業】

- 販売数量は減少するも、販売価格改善により増益

## 【不動産事業ほか】

- 売上・損益ともにほぼ前年同期並みに推移

## 18 連結財政状態概要

(単位:億円(千万円未満切捨))

	当3Q末	前期末	増減		特記事項
			増減	増減率	
総資産	2,606.7	2,510.5	96.2	3.8%	<資産> (流動)現金及び預金の増加 有価証券の減少など (固定)投資有価証券の増加など
(流動資産)	1,543.8	1,508.6	35.2	2.3%	
(固定資産)	1,062.8	1,001.8	61.0	6.1%	
負債	464.0	491.5	△27.4	△5.6%	<負債> (流動)支払手形、買掛金の減少など (固定)繰延税金負債の増加など
(流動負債)	302.5	350.9	△48.3	△13.8%	
(固定負債)	161.4	140.5	20.8	14.9%	
純資産	2,142.7	2,019.0	123.6	6.1%	<株主資本> 当期:親会社株主純利益77.5億、 配当△36.3億など  <その他包括利益累計額> 有価証券評価差額金の増加 為替換算調整勘定の増加など
(株主資本)	1,598.4	1,556.5	41.9	2.7%	
(その他包括利益累計)	303.0	240.1	62.9	26.2%	
(非支配株主持分)	239.8	220.9	18.9	8.6%	
(BPS(円/株))	6,581.8	6,223.2	358.5		
自己資本	1,901.5	1,796.7	104.8	5.8%	
自己資本比率	72.9%	71.6%	1.3pt		

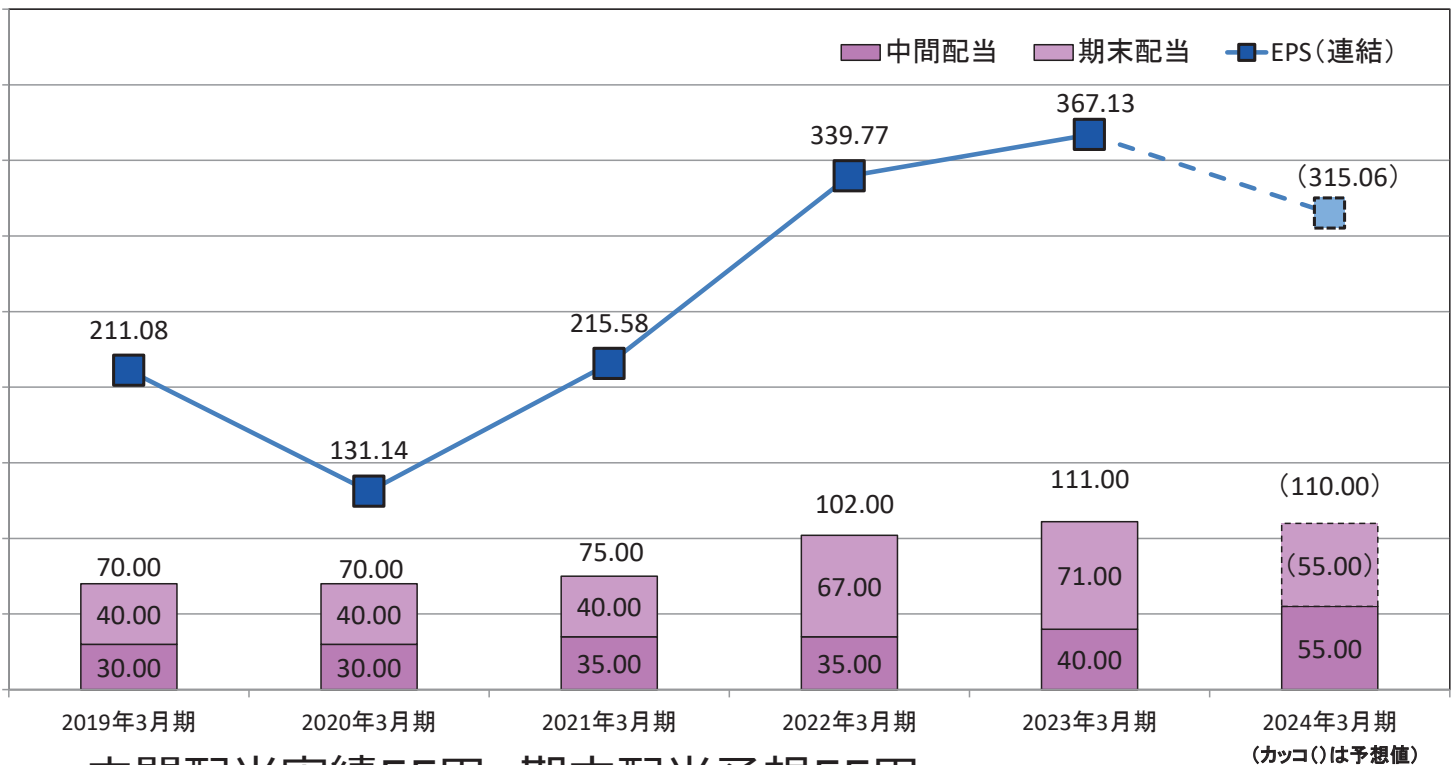
(単位: 億円(千万円未満切捨))

2024年3月期		今回予想 (2024年2月6日時点)	前期比 増減	前回予想 (2023年11月6日時点)	前回予想比	
					増減額	増減率
連結	売上高	2,050.0	△7.0%	2,050.0	-	-
	営業利益	114.0	△10.0%	100.0	14.0	14.0%
	経常利益	145.0	△18.0%	131.0	14.0	10.7%
	親会社株主利益	91.0	△14.1%	82.0	9.0	11.0%

- 中国経済の停滞などによる鉄鋼需給ギャップの影響を受け減収減益を見込む

20 配当

(単位: 円/株)



- 中間配当実績55円、期末配当予想55円  
年間配当は110円を予想